

達成状況評価書(平成26年度)

部局名:免疫学フロンティア研究センター

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、センター主催の英語によるセミナーを計12回にわたり開催し、延べ450名以上の参加者があったほか、平成23年度から実施している若手研究者海外派遣支援プログラムを活用し、計8名の大学院生を含む若手研究者を海外の学会に出席させるなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、ワクチンアジュバントのメカニズム解明とその臨床応用に関する研究が大阪科学賞を受賞したほか、国際研究拠点形成のため、積極的に外国人研究者の採用に努め、25名採用された特任教員・研究員のうち17名が外国人となるなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~17)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、岸本基金フェローシップにより、新たに6名の外国人を特任研究員として採用したほか、梅田北ヤードのナレッジキャピタルにおける、免疫学者・イメージング研究者を招いた国際シンポジウムの開催など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営 以降 (大学の年度計画: 18~30)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、WPIプログラム委員会における評価を踏まえて、免疫ダイナミズムの包括的理解を目指すセンターの融合領域研究を更に推進するため、イメージンググループに外国人主任研究者による「脳-免疫系相互作用」研究室を設置したほか、公的研究費使用ハンドブックの一部を英訳し、外国人研究者への周知を図るなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、センター主催の英語によるセミナーの開催、所属教員の大阪科学賞の受賞、融合領域研究の更なる推進のため、外国人主任研究者による「脳-免疫系相互作用」研究室の設置など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>